

豊橋ハートセンター

「患者と友好関係を築く」

友の会
設立記念

鈴木孝彦院長ら講演

患者や医師らの交流を
深める友の会組織を設立
した豊橋ハートセンター
(同市大山町、鈴木孝彦

院長)で25日夕、院長や
友の会会長、師長らの記
念講演会が行われた。
同センターはこのほ



ど、ハートええじゃない
か友の会を立ち上げ、会
報誌第1号も発刊した。
これを記念した講演会
は、はじめに鈴木院長が
登壇。「患者様のために
行ってきたこと」をテー
マに話した。30余年前の
研修医時代から、現在の
医療実態が大きく変わっ
たことや、科によるゆが
み格差問題なども指摘。
専門医と良医は違うこと
も説明した。

また、国立病院医師か
ら独立、同センター開業
して8年半を振り返り、
心の通う病院、最高の医
療を目指す
ハートセンターで

療を目指すさまざまな取
り組みを紹介。スタッフ
の勉強会、研修会のほか
世界に誇る設備、機器の
導入、一般の救命講座、
企業研修の受け入れな
ど。

「(患者に)最低限の
負担で、格安に最高の医
療を実践しているが、な
かなか理解されない」と
も。今後は友の会組織を
フル活用し、患者と病院
との友好関係を築きたい
と結んだ。

続いて同病院患者で、
友の会会長・宗田理氏
が、豊橋ふるさと大使が、
「ハート友の会について」
を話した。「皆の力でこ
の会を日本一の組織にし
たい。そのためには患者

も賢くなる必要がある」と。
また、会員にはオリ
ジナル健康手帳を贈ること
や、脳トレ(トレーニ
ング)ならぬハートレを
目指したいと話した。

ラストは加藤悦子師長
が「病気になる方法、
病院のかかり方」で、生
活習慣病を防ぐ食事と禁
煙の勧めを説いた。特に
タバコの3害は要注意だ
と警告。良い病院にか
かるには、「情報などで
選択し、ホームドクター
を作って信頼関係を保
つ。ウマの合わない医師
は変えること」と話した。

(星野のりこ)